

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 安全・安心推進部 安全・安心都市整備課
評価対象期間	平成21年4月1日～平成25年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立交通安全センター	施設類型	目的・機能
			I	— ⑤
	所 在 地	北九州市小倉北区井堀五丁目1番1号		
	設置目的	交通安全に関する知識の普及および交通安全思想の高揚を図る		
利用料金制		<input checked="" type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制		
		インセンティブ制	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	ペナルティ制
指定管理者	名 称	特定非営利活動法人タウンモバイルネットワーク北九州		
	所 在 地	北九州市小倉北区浅野二丁目14番2号		
指定管理業務の内容		1 交通安全センターの維持管理 2 交通安全センターに配置する自転車の貸し出し等 3 自動車、自転車車庫の維持管理 4 施設内における警備、監視 5 施設内の展示物、備品等の管理 6 施設内における交通安全教室の開催 7 施設外（保育園、幼稚園、小学校等）における交通安全教室の開催 8 施設の特徴を生かした交通安全イベントの実施		
指定期間		平成21年4月1日～平成26年3月31日		

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント		配点	評価 レベル	得点																																										
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み		50		33																																										
(1) 施設の設置目的の達成		35	3	21																																										
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。																																														
② 市の政策を支援することが業務内容に付加されている場合、政策支援が十分に図られたか。																																														
③ 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。																																														
④ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。																																														
⑤ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。																																														
<p>[評価の理由、要因・原因分析]</p> <p>①平成24年度事業は計画どおり実施され、参加者や関係者等から高い評価を受けている。</p> <p>◇自転車運転免許証制度の推進 交通ルールや安全運転知識に関する講習会を受講後、学科と実技の試験合格者に免許証を交付するもので、市や警察など各関係機関と連携し、主に小学校高学年を対象に実施している。 交付者数 20年度:309人, 21年度:455人, 22年度:182人, 23年度:188人, 24年度:458人</p> <p>◇交通安全教室の開催 平成24年度の交通安全教室の開催回数は、園内教室が442回(前年度比34回増)、園外教室が177回(同39回増)となっている。</p> <p>○教室の開催回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>I期</th> <th colspan="4">II期</th> </tr> <tr> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標(80%up)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>646</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実績</td> <td>園内教室(回)</td> <td>267</td> <td>304</td> <td>338</td> <td>408</td> <td>442</td> </tr> <tr> <td>園外教室(回)</td> <td>92</td> <td>104</td> <td>118</td> <td>138</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>計(回)</td> <td>359</td> <td>408</td> <td>456</td> <td>546</td> <td>619</td> </tr> <tr> <td>達成率(%)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>95.8%</td> </tr> </tbody> </table>					区分	I期	II期				H20	H21	H22	H23	H24	目標(80%up)	-	-	-	-	646	実績	園内教室(回)	267	304	338	408	442	園外教室(回)	92	104	118	138	177	計(回)	359	408	456	546	619	達成率(%)	-	-	-	-	95.8%
区分	I期	II期																																												
	H20	H21	H22	H23	H24																																									
目標(80%up)	-	-	-	-	646																																									
実績	園内教室(回)	267	304	338	408	442																																								
	園外教室(回)	92	104	118	138	177																																								
	計(回)	359	408	456	546	619																																								
達成率(%)	-	-	-	-	95.8%																																									

③入園者は前年度と比較して約 13,700 人増加している。これは、電動アシスト自転車試乗会など新たな取り組みや幼稚園・保育所に向いての交通安全指導の利用促進活動による施設認知度が向上等から利用者が増えたものである。

なお、夏休み期間中に試験的に開園時間を 1 時間延長し、涼しい時間帯での利用を促すことで入園者数の向上を図った。その結果、8月の延長した時間帯の入園者数は 735 人（8月の入園者数 12,562 人の 5.9%）となった。

また、入園者数は、天候の影響や駐車場の課題（北九州パレスと共有のため、土・日・祝日は午前中の早い時間帯で満車）等があることから、限界に近いところまできており、利用者の少ない平日における高齢者などの利用促進、安全指導等内容の充実に重点を置く取り組みを実施する必要がある。

○目標値に対する比較(入園者等)

区分		I 期	II 期			
		H20	H21	H22	H23	H24
目標		-	195,400	205,100	210,100	215,100
実績	入園者(人)	173,102	197,658	170,125	184,682	198,395
	園外教室受講人員(人)	9,629	10,190	9,905	11,443	13,991
	計(人)	182,731	207,848	180,030	196,125	212,386
達成率(%)		-	106.4%	87.8%	93.3%	98.7%

○自転車の貸出し台数

区分		I 期	II 期			
		H20	H21	H22	H23	H24
目標(23%up)		-	-	-	-	101,000
実績	自転車貸し出し台数	82,215	99,620	85,467	92,370	100,973
	(1日あたり)	(271)	(330)	(283)	(306)	(330)
達成率(%)		-	-	-	-	100.0%

○開園日数

年度	21	22	23	24
開園日数	302	302	302	306
荒天率(%)	23.5%	24.2%	29.1%	25.5%

荒天率：開園日のうち、降雨、降雪日数の割合

⑤広報活動については「市政だより」への掲載をはじめ、各報道機関等に対しても積極的に情報提供を行ったほか、毎月「交通公園だより」を発行し、内容の充実にも努めている。また、参加者募集にあたっては、対象施設や団体等を絞ってチラシ等を配布、インターネットによる情報発信など、効果的かつ効率的なPRを実施している。

(2) 利用者の満足度

① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	15	4	12
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。			
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

- ① 利用者アンケートの結果（平成21年度～24年度実施）
「スタッフの対応」では非常に満足、満足をあわせ平均89.5%、「今後の利用の意向」では、また利用したいが平均87.0%、といずれも高い水準を維持している。
- ② 園内に「ご意見箱」を設置して市民からの苦情や要望などを的確に把握し、サービス向上に反映させている。実例：夏季の時間延長、インターネット上での開園日表示の工夫
- ④交通公園のリーフレットを作成、配布したほか、「市政だより」にてイベント情報を提供している。また、毎月「交通公園だより」を発行しているほか、WEBブログ「交通公園の1日」を随時更新しインターネットによる情報発信を行うなど内容の充実にも努めている。
- ⑤職員の指導力等の向上を図るため、職員全員に自転車安全教育指導者資格を取得させるとともに、利用者本位の接遇研修を実施している。

2 効率性の向上等に関する取組み 30 / 18

(1) 経費の低減等

① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。	30	3	18
② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			

[評価の理由、要因・原因分析]

- ① ③パート・臨時職員の雇用や市民ボランティアの協力により人件費の低減を図っている。
- ②清掃、警備、設備保守業務の再委託については、類似業務の一括発注や複数の業者から見積り

を徴するなど経費節減に努め、適切な水準で実施されている。

【単位:千円】

区分	H21	H22	H23	H24
収入(管理運営委託料)	27,350	27,371	27,350	27,350
収支(繰越)	25	141	67	▲ 711
支出(事業費)	27,325	27,230	27,283	28,061
事業費のうち人件費	22,147	20,834	21,998	22,558
事業費のうち委託料	1,315	1,428	1,403	1,439
その他事業費	3,863	4,968	3,882	4,064
利用者1人あたりの 実質事業費(円)	131	150	139	135

(2) 収入の増加

① ~~収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。~~

— — —

[評価の理由、要因・原因分析]

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

20

12

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

10

3

6

[評価の理由、要因・原因分析]

- ① 来場者の多い土・日・祝日に人員を多く配置するなど、業務量に応じた体制としている。
- ② 職員10名(法人兼務職員2名含む)内8名に自転車安全教育指導者資格を取得させているほか、内閣府主催の「交通安全指導者養成講座」に園長代理外3名を参加させるなど、職員の資質向上を図っている。
- ③ 校、警察、老人クラブなど、地域や関係機関等と協力しながら交通教室など各種事業を実施している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるか。

10

3

6

<p>るよう配慮されていたか。</p> <p>③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。</p> <p>④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p> <p>⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。</p> <p>⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。</p> <p>⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>			
<p>【評価の理由、要因・原因分析】</p> <p>① 利用申込書等から得た個人情報、施錠可能なキャビネット等に確実に収納し、原則として事務室からの持ち出しを禁止している。</p> <p>② 申し込みの受付は先着順とし、平等な利用に配慮している。</p> <p>④ 収支の内容を確認したところ、不必要な支出など不適切な点は認められない。</p> <p>⑤ 園内の施設・設備等について、毎日、目視等による安全点検を実施し、園内の事故防止に努めている。</p> <p>⑥ 事務室に緊急連絡先を掲示し、緊急時の対応等を職員に徹底している。</p> <p>⑦ 子どもが怪我をした場合や災害や光化学スモッグ等が発生した場合のマニュアルを作成し、職員に周知させている。</p>			

【総合評価】

合計得点	63	評価ランク	C
<p>【評価の理由】</p> <p>1 家族で楽しく学べるイベント等を継続して実施するとともに、幼稚園・保育所へ出向いての交通安全指導の利用促進活動、効果的な広報に努めるなど新規・再来場を図る取り組みを重ね、利用者の増加に積極的に取り組んでいる。</p> <p>2 自転車運転免許証制度について関係機関・団体と連携しながら、その推進に努めている。また、参加者や関係者からも高い評価を得ている。</p> <p>3 管理運営体制において市民ボランティアの協力等により人件費を抑制している。また、職員に自転車安全教育指導者資格を取得させているなど、質の向上がなされている。</p> <p>4 利用者アンケートによる調査結果では、スタッフの対応が高く評価され、再来場を希望する人の多さが目立っている。</p> <p>5 環境意識の高まり等により、今後、自転車の利用者が増加することが予想される中、自転車のルールやマナーの徹底が求められる。したがって、自転車の交通安全教室の重要性が高まってくるため、実施回数の増加とともに、高齢者などすべての世代を対象とした取り組み、子どもたちが自転車運転免許証を取得したくなるような工夫等、内容の充実を図ることが重要である。</p>			

[北九州市指定管理の評価に関する検討会議における意見]

園内に「ご意見箱」を設置し、利用者からの苦情や要望を的確に把握し、夏季の開園時間延長やインターネット上での開園日表示の工夫を行った結果、利用者の満足度が高くなっており、評価できる。

今後とも、施設の設置目的達成に向けた、適正な管理運営と、更に施設の魅力を向上させる取り組みを期待したい。

【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		
5	100%	良 い	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%	↑	目標（計画）を上回る管理運営がなされている
3	60%	普 通	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている
2	40%	↓	目標（計画）を下回る管理運営がなされている
1	20%		目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

【総合評価】

- S：総合評価の結果、特に優れていると認められる
(合計得点が90点以上)
- A：総合評価の結果、優れていると認められる
(合計得点が80点以上90点未満)
- B：総合評価の結果、やや優れていると認められる
(合計得点が70点以上80点未満)
- C：総合評価の結果、適正であると認められる
(合計得点が60点以上70点未満)
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる
(合計得点が50点以上60点未満)
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる
(合計得点が50点未満)